Ｒ４年第１号
農林高校

農場通信

農業活動での汗を感動へ　～実習による成就感と達成感～

■春の苗祭りでにぎわう（システム園芸科）

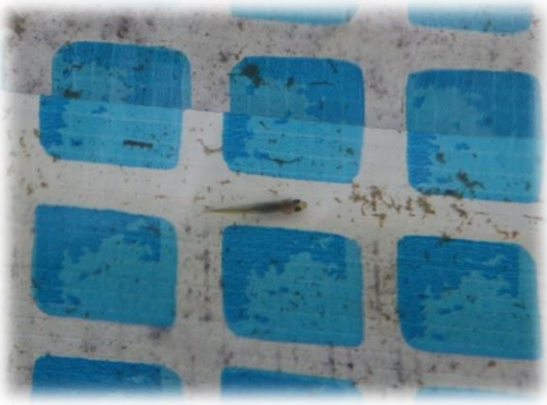
４月 29 日（金）９時から 15 時まで、３年生野菜・草花専攻生徒が、本校草花温室と野菜温室において、春の苗祭りを開催しました。ここ数年、販売活動は自粛続きで、山梨県唯一の農業系専門高校としての運営が十分できませんでしたが、新しい企画として苗の販売をしました。生徒にとって多くのお客様を迎える中、社会で求められるキャリア教育を念頭に取り組みました。業務分担を行い、当日までにできること、当日やらなければならないことに分けて準備し当日を迎えました。200 名を超えるお客様のご来校をいただき、販売活動から会計業務、アンケートによる行事の分析などを行い、生産物の販売の大切さを身をもって体験することができました。

■植樹祭で植林（森林科学科）

森林科学科は、森林の機能や造成方法などを学ぶと共に、森林からの生産物である木材や林産物の利用方法を学んでいます。近年はオリンピックとパラリンピックで使用された「県産木材を使用したベンチ作り」や「山梨夏っこきのこという山梨県が研究開発したきのこの菌床栽培」を行い、ものづくりにも力を入れています。

近年、新型コロナウイルスの影響で中止となっていた植樹祭に、今年度は参加することができました。林業を志すうえで、植林は基本となる作業です。生徒たちは十数年後に大きな木になることを夢見て、丁寧に植林を行いました。

■ホンモロコの産卵（環境土木科）



環境土木科では、平成 30 年度より、３年生の「課題研究」と「総合実習」でコイ科の淡水魚「ホンモロコ」の養殖プロジェクトを行っています。令和２年度に山梨県水産技術センターに具体的な施設の活用方法などのアドバイスをいただき、農林高校の井水を利用した養殖に着手しました。同年 10 月には、稚魚を 1000 匹提供していただき飼育してきました。そのホンモロコが、令和３年には産卵し、順調に生育してくれました。

そして、令和４年３月下旬、農林高校で生まれ育ったホンモロコが産卵し、４月上旬には孵化、現在は１ｃｍほどに成長しました。今後の成長を楽しみにしています。

■専門家の指導による庭造り（造園緑地科）

4月22日（金）に造園建設業協会の御指導のもと、3年生対象の造園技術講習会を行っていただきました。5m×3mの区画に建設機械(バックホーおよびクレーン)を使いながら小さな庭園を作りました。

石の据え付けて木を植栽し、写真のようなきれいな庭ができました。なによりも、造園の技術を現場で働いている方から直接、教えていただいたことに講習会の意義がありました。

生徒は、昨年度の取得した建設機械の資格が、重たい石を釣り上げる作業などに使われることを知り、学習したことが実際に活かされることを実感できました。また、教えていただいた造園業の方々は、本校造園緑地科の先輩が多く、心強く感じました。生徒は、先輩たちに続き私たちも力をつけなくてはならないと思える実習でした。造園緑地科3年生はこれから3級技能検定に挑戦します。日ごろの学習の成果を認めてもらえるように頑張っていきたいと思います。

■農林高校　ワインプロジェクト（食品科学科）

食品科学科には発酵食品や腐敗に関わる様々な微生物の性質や扱い方を学ぶ「微生物利用」という専門科目があります。３年生はその科目で身に付けた知識や技術をワインプロジェクトに応用し、ワイン中の微生物の検査を行いました。サンプルは今月末に瓶詰めする予定の赤ワインです。クリーンベンチ内で無菌操作を行い、メンブラン培養法でワイン中の微生物を検出します。数日間培養し、微生物が非検出であれば濾過などの処理を最小限に留めることができます。検査せずに無濾過詰めすると再発酵や混濁のリスクが高まり品質の確保が難しくなります。高品質なワインを製造するには科学の知見が欠かせません。

■醸造・ワイン関連の本が充実

図書館にマイスター･ハイスクール関連のコーナーができました。ワインやブドウ･醸造に関する本が揃っています。この分野に関連した本が予想以上にあることに驚きました。ブドウの栽培から醸造、マーケティングまで幅広くありますので、興味のある人は図書館に来てください。

い～なとうぶ等で
農林ワイン販売中